

ますみ児童園の樹木診断報告書

調査樹木医：

調査対象 ますみ児童園の染井吉野 8 本、ケヤキ 7 本、ヒマラヤスギ 2 本
場 所 亀山市若山町 4-7 亀山公園内
調査年月日 令和 7 年 9 月 24 日
依頼者 亀山市農林振興課
立会者 市建設部都市整備課市街地グループ

調査依頼の内容

公園内での植樹の実施にあたり、一部の既存のサクラの樹勢が弱いことから生育状況の確認をいただき、必要に応じた既存のサクラの撤去及び植樹の配置等についての助言がほしい。
樹木の状況：一部のサクラ等について、荒天後や弱体化による落木が見受けられる。
その他特記事項：サクラ等の生育状況を把握し、将来的に倒木等の支障となりえる樹木について、撤去等を検討したい。また、令和 8 年度にますみ児童園の遊具改修工事が行われる予定があり、工事にあわせて該当樹木の撤去をしたい。

調査又は診断結果

- 1) 亀山公園内の亀山西小学校の校庭西側に位置する小公園で、染井吉野、ヒマラヤスギ、イチョウなどの植栽木のほか遊具も配置されている。染井吉野、ヒマラヤスギの樹齢は 40 年以上経過しており、道路側に植栽されている染井吉野の衰弱が目立っている。一方、ヒマラヤスギは健全に生育しており、剪定されていないため世界 3 大公園樹木にふさわしい樹形を保っており、三重県内で最も美しいヒマラヤスギと言っても過言ではない。
- 2) 以下に、依頼された樹木の個体番号の順に診断結果を記述するが、改修される予定があるという視点を加味している。
 - ① 染井吉野（根元周囲 136cm） 主幹が伐採されて、大枝が大きく北東、南西方向に長く伸びている。北東に延びる枝の上部は既に枯れており、落下の危険がある。南西側の枝も長く伸びて不安定である。西側の樹叢に被圧され、十分な開花も期待できない。衰弱気味で危険回避のため伐採が妥当である。
 - ② 染井吉野（根元周囲 97cm） 大枝が枯死しており、折損して落下すれば人的被害が出るため、早急に伐採する必要がある。残る幹も衰弱が激しく、開花量も少ないと思われる。本来の樹形が大きく崩れており、伐採して新たな植栽が望ましい。
 - ③ 染井吉野（根元周囲 102cm） 2 本の幹があるが、1 本は枯れつつある。これを切除すると極めて樹形が悪くなり、伐採して新たな植栽が望ましい。
 - ④ 染井吉野（根元周囲 118cm） 地上近くで 2 本立ちになっているが、両方の幹とも割れが入っており、危険回避のため伐採を検討する。
 - ⑤ 染井吉野（根元周囲 131cm） 地上 1.5m あたりで幹は 2 分岐している。分岐部付近で腐朽が大きく進行しており、幹折れの恐れもあるため伐採を検討する。
 - ⑥ 染井吉野（根元周囲 154cm） 地上 1.6m 近くで 4 本の大枝に分岐している。うち 1 本は北東方向に水平に長く伸びており、枝の自重で折損する恐れがあり、枝を短くするか、支柱の設置を検討する。残りの 3 本は上方に伸びているが、最も細いものには腐朽が進行しており切除を検討する。
 - ⑦ ヒマラヤスギ（根元周囲 206cm） 健全に生育しており、樹種特有の美しい樹形を保っている。

- ⑧ ケヤキ（根元周囲 116cm） 地上 1.8m 付近で 2 本の幹に分岐している。生育良好で問題はない。土壌が浅いのか、転圧されているのか太い根が地表を這っている。このケヤキを今後とも残すのであれば、地表に出ている根の切除は避けることが重要である。切除すると、切除部分から腐朽菌が侵入し、将来的には樹体の腐朽に進行する恐れがある。
- ⑨ ケヤキ（根元周囲 94cm） 現状では特に問題はないが、両側の大きなケヤキに被圧され気味で、将来的には衰弱する恐れがあり、公園を広く利用するためにも、思い切って伐採する事を勧める。
- ⑩ ケヤキ（根元周囲 138cm） 少し傾いて生育しているが、健全で問題はない。
- ⑪ ケヤキ（根元周囲 111cm） 健全に生育している。枯れ枝があるので切除する。
- ⑫ ケヤキ（根元周囲 116cm） 幹の南側部分の樹皮が地際部から地上 1.6m の高さまで剥がれ、材部が露出している。材部に腐朽は進行していないので、当面問題はないが、今後数年間のうちに腐朽が進行する恐れがある。樹皮剥離部分を隠す処理を行うことも検討する。
- ⑬ ケヤキ（根元周囲 61cm） 小径木であるが生育状況に問題はない。
- ⑭ ケヤキ（根元周囲 92cm） 特に問題はないが、ヒマラヤスギに近接しており、被圧害を受けつつある。将来的に日照不足で衰弱し、枝を南西方向ばかりに伸ばすような樹形になる恐れがある。思い切って伐採することも検討に値する。
- ⑮ ヒマラヤスギ（根元周囲 203cm） 根元に木材腐朽菌の 2 種のきのこが発生していた。根に腐朽が進行している可能性があるが、地表からは特に異常は認められない。打音検査をしても、地際付近の幹や根株に異常は無く、当面は経過観察を行う。
- ⑯ 染井吉野（根元周囲 139cm） 地上 1.6m で 2 本の幹に分岐している。東方向の大きく傾いている幹は長く伸び枝の自重で折損の恐れがあり、枯れもある。もう一方も西側樹叢の日陰になっており、サクラの生育場所としてはふさわしくなく、開花は良くないものと思われることから伐採を検討する。
- ⑰ 染井吉野（根元周囲 148cm） 地上 1m 付近で 3 本立ちになっている。西側の樹叢に被圧されており、日照を好むサクラの生育場所としては不相当であり、公園の改修計画に照らして伐採も検討に値する。

実施すべき内容

・直ちに行う必要があるもの

- ① 染井吉野の枯枝や腐朽している幹等は折損落下して通行人に当たる恐れがあり、早急に切除する。

対象木：①全木、②大枝、③枯れ幹、④全木伐採、⑤全木伐採、⑥水平法に伸びる大枝
⑩全木、⑰全木

・今後、行う必要があるもの

- ① 公園の改修計画に応じて、伐採を検討しても良いと思われる樹木

対象木：⑨ケヤキ、⑫ケヤキ 見た目を重要視するのであれば ⑭ 将来的に被圧木になる恐れがあり、今のうちに伐採しておく

この報告書の内容についてご質問等があれば、以下の樹木医にお尋ねください

令和 7 年 9 月 26 日

報告書作成：

ますみ児童園の樹木診断写真



No.1 染井吉野

主軸が枯れ、2本の枝が伸びている。両方とも下枝がなく、太い幹の付け根には亀裂が入っている。自重で折損する恐れがあり危険なため、地際での伐採を勧める。



No.2 染井吉野(右側がNo.2)

2本の幹の内、写真右側は枯死している。左側の幹は下枝が無く、伸びすぎており、折損落下の恐れがあり危険。樹形も大きく崩れており、伐採を奨める。枯れ幹は早急に切除する。

No.3 染井吉野(左側)

枯れた幹があり、落下する恐れがあり、早急に切除する。



No.4 染井吉野

2本の幹とも幹割れがあり危険。樹形が大きく崩れており、地際で伐採を勧める。



No.5 染井吉野

地上 m付近で2本に分岐している。大枝の切除痕由来の腐朽が拡大し、材部露出しており、強風等で折損する恐れがある。樹冠上部に枯れ枝があり、折損落下の恐れがある。枝も少なく開花もあまりの望めないと思われ、地際部での伐採を勧める。



No.6 染井吉野

主幹が4本に分岐し、1本が北東方向に長く伸びすぎて、自重で折損の危険があり、幹付け根で切除する。上方に伸びる最も細い枝は枯れが進行しており、切除する。



No.8 ケヤキ(滑り台の左)

No.9 ケヤキ(滑り台の後ろ)

No.10 ケヤキ (滑り台の右)

No.11 ケヤキ(No.10の右)

No.9は両側のケヤキに被圧されており、今後とも良好な生育は見込めないため伐採する。



No.12 ケヤキ

地際部から地上1.6mまで樹皮が剥がれて、材部が露出している。樹勢は普通で、特に衰退はないが、見た目が良くない。現時点では、倒木などの恐れはない。



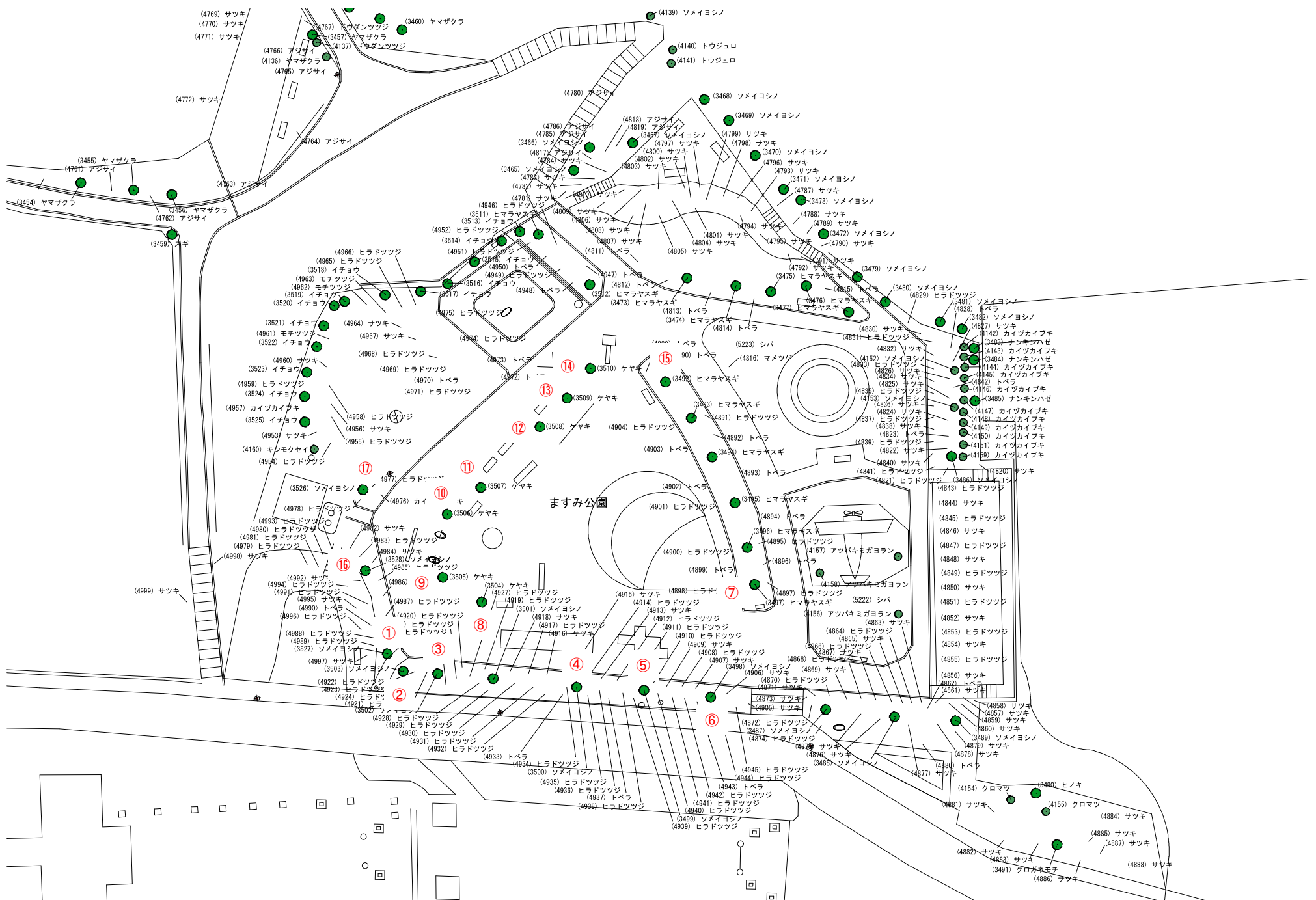
No.16 染井吉野

西側の樹叢に被圧されており、樹体は東方向に傾いており、危険。太枝が枯死しており、今後良好な生育は見込めず、地際部での伐採を勧める。



No.17 染井吉野

幹から3本に分岐し、長く伸びている。下枝はあまりない。この公園の染井吉野は、おしなべて、過齢化が進み、樹体も大きくなりすぎており、小公園には不向きな状態になっている



※本植栽図には、既に伐採済みの樹木が含まれている場合があります。